

ここまでで決まった事柄の確認について

【第 1 回会議】

◆委員長・副委員長選出

委員長に、鈴木利輝委員を選出した。

副委員長に、小沢正順委員を選出した。

◆議事

議事（１） 学校再編に係る協議・検討事項について

Q 1 中学校を統合するメリットの説明を詳しくお願いします。

A 1 中学校を統合するメリットとして、生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくためには、統合により生徒数を確保することが望ましい。

各学級数が少ないと配置される教員、先生の数も少なくなり、教育活動に制約が生じる可能性があり、統合することにより、教員、先生の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できる。

学校の実際の活動として、生徒数の減少により、部活動の実施が厳しい。統合することにより、充実した部活動等、活動ができる。

遠方の生徒でも、30分程度のスクールバスの通学を予定します。

Q 2 部活動は、中学校を統合することにより増えることはありますか。

A 2 基本的には、統合中学校の校長が、最終的に判断することになります。ただ、それほど生徒数が多くなるわけではないので、現在の部活動とそれほど変わらずに維持していくということが、もっとも見込まれます。

Q 3 統合したときに、白浜中学校の生徒全員が千倉中学校に通学するのか、そうではないのか。

A 3 現在、南房総市、隣接する館山市とも保護者の考えで、市を越えて通学することが、非常に緩やかになっています。ただそれは、特異な例であり、基本的には、現在の千倉中学校の生徒と白浜中学校の生徒が一緒になる形を考えています。

決議・確認として

議長 次回以降の検討委員会会議で、千倉中学校と白浜中学校の統合について、協議、検討していくことでよろしいか。

各委員 異議なし。（複数の委員からある）

議長 では、異議なしと認めます。

議事（２） 検討委員会第 2 回会議の日程について

次回の会議日程は、7 月 30 日の午後 7 時からと決定した。

【第2回会議】

◆報告

白浜地区学校再編検討委員会の検討結果について

Q1 今後の学校再編検討委員会の運営について、合同会議で協議した結果を文言にして、教育委員会へ提言する場合、協議会方式で両方の検討委員会が同じ文言で提言するのか、合同で協定書のような連名の形で提言するのか。

A1 提言は、両地区の名前、両地区委員長の連名の形で、協定方式で提言をいただいています。疑義があれば、要綱を改正して、新たに合同の地区学校再編検討委員会を設ける等をします。

学校統合のメリット・デメリットについて

Q2 子どもたちの勉学について、情緒第一義として統合することは重要だが、市民目線から、学校統合のコストのメリット・デメリットについて、今後の会議の中で、意見を伺うことは可能か。

A2 ご要望にお応えして参りたいと思います。

◆議事

議事（1） 千倉地区の中学校再編（案）について

Q3 現在、中学校統合の検討会議をしているが、統合時には生徒数が200人を超えているが、その後、6～7年後には、200人を割るようになる、その時は、また他校との統合の可能性があるのか。

A3 人数だけで学校統合を考えることは、難しいと考えます。通学もスクールバスで30分程度を上限と考えています。

また、それ以上通学時間が長くなると、子どもたちの学校生活、朝の問題、放課後の問題等に支障が出てきます。統合には人数だけでなく、学校生活の時間、通学時間等を加味しなければならないと考えます。

Q4 統合中学校の学校の位置や学校名は、合同検討委員会会議で決めることになっているが、その会議で学校の位置や学校名に反対する保護者が多かった場合はどうなるのか。

A4 合同検討委員会会議で、結論が出るまで協議をお願いすることになります。嶺南小学校のときも、かなりの回数を議論していただき、最後は、子どもたちの学校生活にとって、どこが良いだらうという視点で合意をいただきました。

Q5 ここまで、2回の会議に出席したが、統合ありきで話が進み、理由を後から付けているように感じ、デメリットについては、もっと検討しデメリットを解消していく方法を考えるべきではないか。

A5 統合ありきの話と捉えられたのなら、申し訳ございません。今後の状況を考えて両校で統合していくことが良いのではないかという基本的な考えです。また統合したことのデメリットや統合しない方が良かったとの声は、ほとんど聞いておりま

せん。

Q6 今回の統合の話は、白浜中学校の生徒数の減少が顕著だから千倉中学校と統合させ、その次は、また考えよう的に思えます。

それならば、外房4地区を統合し現在の嶺南中学校よりもう少し白浜側に統合中学校を設立することに、協議を移す方が良いのではないか。

A6 私どもは、学校の統合を考える場合、生徒の人数だけでなく、通学時間や通学距離など子どもたちの学校生活の時間を加味しなければならないと考えます。

ただ、千倉地区で2校の統合はしない。もっと広範囲で考えるべきであると結論が出た場合、白浜地区に意見を伺い、同じような、もっと広範囲で考えるべきであると結論に至れば、その時点で、また考えたいと思います。

Q7 統合中学校ができて、どこに中学校を設置しても、30分程度以内で通学可能とのことだが、もう少し分かり易く表現した方が良いと思うがいかがか。

A7 既存の千倉中学校又は、白浜中学校を使用した場合等、具体的な表現に修正します。

Q8 統合中学校は、既存の千倉中学校、白浜中学校を使うのか、新設になるのか、明示しておいた方がよいと思うがいかがか。

A8 合同会議で、ご提案をさせていただきたいと思います。この場では、子どもたちの環境、学習環境、生活環境を良くするには、どういう規模が良いかに重点を置き議論をお願いします。

Q9 中学校は、現在議論をしているが、白浜小学校はどうなるのか。その辺の議論も一緒にするべきではないか。

A9 白浜地区のPTA説明会で小学校もという声はありました。しかしながら、今は中学校だけの統合を考えています。ただ今後、再編検討委員会の協議の中で、両地区で小学校も統合して行こうと結論に至れば、教育委員会は、それを拒否する立場ではないとご説明しました。

Q10 白浜地区学校再編検討委員会の検討結果を報告したが、統合するとまとまっている話でしょうか。

A10 白浜地区としては、千倉中学校と統合しようということであり、千倉地区は千倉地区で検討をお願いします。その上で、白浜中学校と統合しよう結論が出た場合、合同会議を開催します。

Q11 千倉地区で、白浜中学校と統合はしないという結論が出た場合はどうなるのか。

A11 その場合は、もう一度、白浜中学校の統合のありようについて、白浜地区の皆様方にご提案することになります。また白浜地区の方の中には、千倉地区で統合はしないと結論が出た場合のことを心配するご意見もありました。

Q12 統合中学校の位置、学校名は、千倉地区学校再編検討委員会で白浜中学校と統合すると決まって、合同会議で決まるとのことだが、同時進行はできないのか。

A12 まずは白浜地区との統合という方向性を出していただき、その後の合同会議で願

いします。両地区の子どもたちが一緒になるので、合同会議の場で統合中学校の位置、学校名等を決めていただきたいと思います。

Q13 合同会議は、こういった人選で会議を開くのですか。

A13 千倉地区、白浜地区それぞれの再編検討委員が同じ人数で会議をおこないます。そのため、現在の2倍の人数の検討委員会となります。そこで、委員長、副委員長ともにお二人生まれることになります。

丸山和田地区の会議では、委員長に交代で議長を務めていただきました。今の段階では、その想定をしています。

PTAの方々や区長様は、任期があるので、それぞれのお考えとなります。ただ役職を退かれても（任期が終了しても）顧問等の名称で、そのまま継続して会議に出席された方も過去にはいます。

決議・確認として

議長 千倉地区の中学校再編（案）に従い、これから白浜地区と千倉地区の合同会議を経て、白浜中学校と千倉中学校が統合するということについての議論を進めていくということでご理解をいただきましたか。

各委員 異議なし。（複数の委員からある）

議長 それでは、再編（案）のとおり、これから両方の学校の統合に向けて会議を進めていくということで、その再編（案）の（案）を消していただきたいと思います。

議事（2） 保護者説明会及び地区説明会について

Q14 保護者説明会及び地区説明会は、どのような方法で行う予定ですか。全部を一堂に会しての説明会ですか。それとも地区ごとに分けて、何回かに分けて説明会を行うのですか。

A14 保護者説明会の日程や会場については、保護者代表、校長先生にご相談して、広い場所を確保し、回数もPTAの皆様のご要望に沿う形をなるべく取らせていただきたいと思います。

地区説明会は、保護者説明会の後に予定し、日程や会場につきましては、区長様にご相談して進めさせて頂きたいと思います。

◆その他

次回の会議日程は、9月24日の午後7時からと決定した。（新型コロナウイルスの緊急事態宣言延長のため会議日程を延期した。）